

SSVC+の合言葉「できることを、できるひとが、できるときに

子どもの笑顔が報酬代わり」

始良市では、平成26年度から学校を地域全体でサポートする学校応援団「SSVC」を実施してきました。現在、学校が地域づくりに貢献する活動を+（プラス）し、地域と学校がタッグを組んで地域づくりを進める「SSVC+」にバージョンアップした活動を展開しています。コミュニティ協議会と学校から推薦された地域学校協働活動推進員がコーディネーターとして学校と地域をつなぎ、各学校・地域で積極的に活動しています。今回は、加治木中ブロックの各学校の取組状況を紹介します。

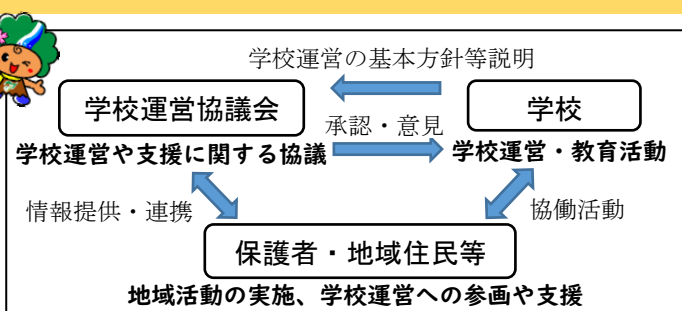
教えて！くすみん

コミュニティ・スクールの導入と地域学校協働活動

コミュニティ・スクールとは何ですか？

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を置く学校であり、学校運営協議会とは、法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限と責任を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

各学校に学校運営協議会を置くことで、学校と地域がビジョンや課題・情報等を共有し、地域と連携・協働した取組が活発になります。また、地域や企業、団体等による組織的な支援体制が構築されることで教職員が異動してもその取組が継続されるといったメリットがあります。



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の関係は？

始良市では、コミュニティ・スクールを令和8年度に導入する予定です。

現在、導入に向けての準備と研究を行っているところであり、学校や地域への周知も進めていく予定です。

本市では地域学校協働活動として、SSVC+事業を行ってきました。各学校に学校運営協議会が設置されると、学校運営への必要な支援についての協議が行われ、その結果を踏まえて、円滑かつ効率的に地域学校協働活動が行われます。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が一体的推進を図ることで、「学校を核とした地域づくり」が可能になります。

これまで、各学校で行っていた学校評議員会が学校運営協議会へ移行し、地域の子どもたちや未来に向けてビジョンや課題を共有し、共通の目標を設定することにより、学校・家庭・地域が社会総掛かりで当事者意識をもって取り組めるようになります。

こんな活動をしています

SSVC+だよりでは、中学校ブロックごとに特色ある活動を紹介しています。今回は加治木中ブロックの紹介です。

私たちは、地域（校区コミュニティ協議会）と学校の間で地域づくりを担うコーディネーターです。私たちの校区での活動を紹介します。

統括コーディネーター (加治木中校区)	コーディネーター					家庭教育サポーター
馬場 隆一郎	柁城小校区 岩重 俊一	錦江小校区 九万田 昭	竜門小校区 二見 眞寛	永原小校区 堂森 義和	加治木小校区 馬場 修二	加治木中校区 近野 一子

柁城小校区

本校区は、地域や保護者の方々の学校に対するボランティア活動への関心が高く、「柁城の子見守り隊」による児童の登下校時の見守り活動、PTA親睦委員会等による運動会、バザーへの協力、「ほっとまま」による読み聞かせ等、多くの支えがあり児童が安心・安全な学校生活を送ることができています。中でも、SSVC+コーディネーターは、学校と地域を繋ぐ大切な役割を果たしています。毎日の登校時には正門前で立哨指導を行い、子どもたちを元気にしてくれます。年中行事に合わせて、様々な恰好で子どもたちを迎えてくれることもあり、12月には、正門でサンタが子どもたちを迎えてくれました。

(文責：北和幸教頭)



錦江小校区

錦江小学校では、コミュニティ協議会をはじめとした地域の皆様から子どもたちの学びや成長を支えていただいています。本年度は、新たに実地での交通安全教室や水泳授業の見守りをしていただきました。また、昨年に続き1年生と6年生は、地域の方と一緒に昔遊びやボッチャを楽しみました。子どもたちは、地域の方々に支えられ、交流を通して多くのことを学びながら、一步一步確実に成長しています。教児共に地域のよさを改めて実感し、ふるさと錦江への思いをさらに高めているところです。

(文責：恒松友和教頭)



竜門小校区

「子どもたちを花で見守りたい」という気持ちで校門前の道路に花鉢を置いてくださったのは、西元寿会のみなさんです。毎年、卒業式前になると校門前の道に鉢を置いてくださいます。今年も、みなさんが育ててくださった草花の鉢をきれいに並べて、卒業生を送り出し、新1年生を温かく迎え入れてくださいました。

竜門校区では、この他にも登下校時の見守り活動や下校バスの安全指導、田植えや野菜作りなどの農作業体験や龍門司焼体験学習、網掛川の生態観察学習など、地域の方々が関わってくださる活動がたくさんあります。

(文責：西希里子教頭)



永原小校区

永原校区では、米や芋作りなどの農業体験や伝統芸能の太鼓踊り、吉左右踊りの指導、3のつく日のあいさつ運動など、様々な場面で小学校とコミュニティ協議会との連携を図っています。その中でも、特に、学校・家庭・地域の協働で行っている行事が、永原小バザーです。毎年、コミュニティ運営委員会で話し合い、いろいろなお店を出店します。「子どもたちをともに育てる」学校・家庭・地域の協働を喜びにしている永原校区です。

(文責：白川洋美教頭)



加治木小校区

加治木小学校校区コミュニティ協議会では、5月に毎年恒例の「校区ウォークラリー大会」を実施しました。当日は、約70名の参加者があり、校区内の危険箇所や史跡等を知っていただくよい機会となりました。また、10月には、PTA主催の「かじきっこ秋祭り」と同日に「校区文化祭」を実施する予定です。昨年度は、「校区文化祭」当日に「馬踊り」を披露していただき、児童や保護者、地域住民が伝統行事のよさに触れられる機会を設けました。12月には、「加治木中学校吹奏楽部の演奏会」も実施予定です。

(文責：馬場修二C)



加治木中校区

地域の方々のご協力を頂きながら、5月に3年生の「職業講話」や6月に「学校自由参観週間」、青パト隊員による「立哨指導(月1回予定)」等を実施しました。今後は1年生の総合的な学習の時間に地域の伝統芸能(太鼓踊りや示現流、天吹等)の学習を行っていく予定です。また、地域づくりに貢献することを目的に、地域の行事(加治木小校区ウォークラリーや8.11空襲の日・平和の集い式典等)に中学生が積極的に参加するよう働きかけを行っています。

これからも学校と地域との協働を図り、地域と一緒に子どもたちのよりよき成長を推し進めていきたいと考えています。

(文責：園田耕一教頭)

